

緑のボランティア通信

2022.2.1

NO.76

令和4年度(第18回)

わがまち花と緑のコンクール

応募期間 3月10日~4月15日

市内の花と緑による美しい景観を発掘し、それを創りだしている方々の紹介を目的に実施します。応募作品の審査は、市民による運営委員の現地調査や予備選考会を経て学識経験者等による選考委員会で決定いたします。団体・個人ともに入賞作品と大賞作品が選出され、その結果を6月25日(土)中原市民館で行われる表彰式で発表します。応募方法は応募用紙(区役所等配布、もしくは当協会HP)に必要事項を記入し、写真4枚貼付の上、郵送ください。ぜひ、この機会にご自宅の花壇や、ご近所の素敵な花壇等をご紹介ください。皆さまのご応募をお待ちします。

応募用紙のダウンロードはこちら➡
当協会HP



かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

目次

わがまち花と緑のコンクール募集	1
開催報告/お知らせ	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
flowerbed	4

開催報告・お知らせ

「こども黄緑クラブ秋編」を開催しました

楽しみながら自然に親しみ、川崎の緑を守り育てるこどもたちとその保護者を応援する目的で開催している「こども黄緑クラブ」。今年の秋編は「ドングリ博士」と「昆虫探検隊」の2つのテーマに開催し、47名の方に参加いただきました。

「ドングリ博士」編

「ドングリ博士」編では講師に「どんぐりの穴のひみつ（偕成社）」の著者である高柳芳江先生をお呼びし、こどもたちといっしょに等々力緑地で色々な種類のドングリや樹種について楽しいお話をさせていただきました。

参加者の声

「自然にふれる機会がないのでよかったです。先生のおはなしわかりやすくて良かったです」

「自然のことを詳しく教えてあげられないので、参加してたくさん知りたいと思って参加しました」



「昆虫探検隊」編

「昆虫探検隊」編では夢見ヶ崎公園に場所を移し、講師にプロナチュラリスト（プロフェッショナルな自然解説人）の佐々木洋先生をお招きしました。冬越しの昆虫をこどもたちといっしょに探しながら、様々な解説を頂きました。

参加者の声

「定期的に行っていただける頻度を増やしていただきたいです。また参加したいです」

「自然とのふれあい、理解を深められました。お友達との交流も素敵」



お知らせ

「緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー」の掲載団体募集しています!!

本誌では、3ページ目の「緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー」掲載団体を募集しています。設立〇周年の記念や、活動をもっとアピールしたい等とお思いの方は是非当協会までご連絡ください。

緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー

川崎市民花クラブ(2012年設立)

活動場所 川崎市民プラザ(高津区新作1-19-1)
交通案内 東急田園都市線「梶が谷駅」下車 徒歩約15分



私達の活動場所は「川崎市民プラザ」施設の入口に有るプランター4個です。この活動は平成24年4月から「高津区民ミニ・ガーデン」という団体より引き継ぎ、新たに「川崎市民花クラブ」として会員5名で始めました。活動は年2回の植栽と水やりです。花選びには苦労しています。また、水やりは担当を曜日を決めて行っていますが、夏の水やりが一番大変です。活動場所の市民プラザはお子様からご年配の方まで幅広くご利用されている場所です。施設を利用されている方々が「いつもきれいなお花ありがとう」と声を掛けて下さると、私達もうれしくなります。花を通じてお互いの交流と癒しになればと思っています。皆様に感謝です。ボランティアの仲間との交流、楽しく私の宝物です。

(末松 正子)



金山ガーデニングクラブ(2011年設立)

活動場所 宮前区梶ヶ谷1388番地先
交通案内 東急バス「西福寺前」下車 徒歩5分



私達「金山ガーデニングクラブ」は、2011年9月に発足し早11年になります。活動している場所は道路に挟まれた日当たりの良い三角地にあることから、私たちは「ひだまり」という名前で呼んでいます。この「ひだまり」の目印が花壇の前にある白いベンチです。近隣の方の買い物の行き帰りの休憩できる憩いの場になっています。そうした方々から作業の際に、手入れのアドバイスや「ご苦労様。いつもきれいにしてくれてありがとう」等の声掛けをいただきます。



メンバーは30代~70代まで幅広く、孫世代も一緒に作業をしています。コロナ禍のため各々の得意分野を生かしながら2人単位で分担して作業しています。花壇の花は周りの方々のリクエストも反映しながら、春はチューリップや菜の花、夏はひまわり、秋はコスモスを毎年組み入れています。花壇を通して周りの方々とつながりも大切にしたいと考えています。

(竹島 葉子)

いつも見慣れている公園の花壇、そんな花壇の花を紹介します。

ワンポイント

土の良し悪しについて

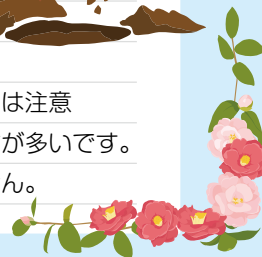
どんなに良い土でも水はけが悪い場合は論外です。その上での話です。

培養土：品質にもよりますが、植物が良く育つように肥料分を調合した土です。

黒土：肥料分が多い分雑菌も多い。植木には良いが、小さい芽や苗を植えるときは注意

赤土：肥料分はほぼないが、雑菌も少ない。花の生産者は赤土をベースに作る方が多いです。

粘土・礫：根腐れしやすく、育ちにくい。ただし絶対に枯れると言う事ではありません。



No.29

ガーデンシクラメン * 球根

*開花期 10月～4月

*花言葉 清純・憧れ



大きいシクラメンに比べると、ガーデンシクラメンは育てやすいように思います。

耐暑性はもともと弱く、耐寒性はあると言われていますが、ポットのままだと寒さにも弱いと感じます。

植え替えをしてあげると、根が土壤にあるためか寒さに強くなります。

色は多色で、花の形も多種になってきました。

球根は埋まるような深植えは厳禁です。

夏は休眠して葉が無くなったら、水は控えめに。



No.30

シロタエギク * 多年草

*開花期 6月～7月

*花言葉 あなたを支えます



耐寒性に優れ、カラーリーフとしても使えます。また、夏越しも比較的容易で毎年大きくなってくれます。

高さは10cm（入荷時）～50cm（翌年）くらいになっています。蒸れると病気になりやすいので、密植しないで風通しの良い所で育てましょう。

春に大きくなったら、剪定をして挿し芽で増やすことも可能です。

大きくなるので、花壇に植える時は後ろの方にしましょう。

(株) 泉樹園^{せんじゅえん}、手塚賀久



公共の花壇を対象に誰もが知っているポピュラーな花を再認識していただくコーナーです。
このコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。ぜひ参考にさせていただきます。